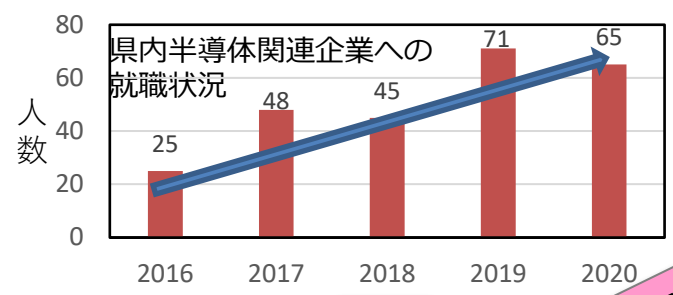


- 九州で半導体企業に最も人材を輩出。
- 近年、人材需要が高まっており、この春の卒業生の半導体企業就職者数は、大幅増の見込み。



課題

熊本大学は、昨年度まで半導体の特別な組織やカリキュラムはなかった。

学士課程で日本初の半導体コース2つ設置(学生定員60名) 【資料14】

プログラム	育成する人材と特色
工学部半導体デバイス工学課程 (20名+編入生20名、令和6年度設置)	●LSI回路設計・システム設計、デバイスプロセスのエンジニア 半導体の設計から後工程に至る全過程の基盤的知識を備え、半導体の製造・評価・開発に携われる人材。 物理/化学/数学/材料/機械等の幅広い基礎教科と半導体デバイスの最新技術、実務家教員によるPBL/OJT教育の実施、また国際社会で活躍できる高い英語運用能力を教授。
情報融合学環DS半導体コース(20名、令和6年度設置、女性枠設置)	●プロセスエンジニア DS・AI・IoTを活用し、半導体デバイス製造過程における各工程の品質管理や製造プロセスの最適化で工場機能の最大化を図れる人材。 DSやITの専門知識と実際の半導体製造プロセスを踏まえた実験・実習、インターンシップ等を提供。一定水準の英語運用能力を涵養。
半導体工学副教育PG(開始済み)	設計・製造プロセス全体に関する概要を教育し、専門知識を半導体企業で柔軟に応用できる人材を育成(8単位、83名受講中)。



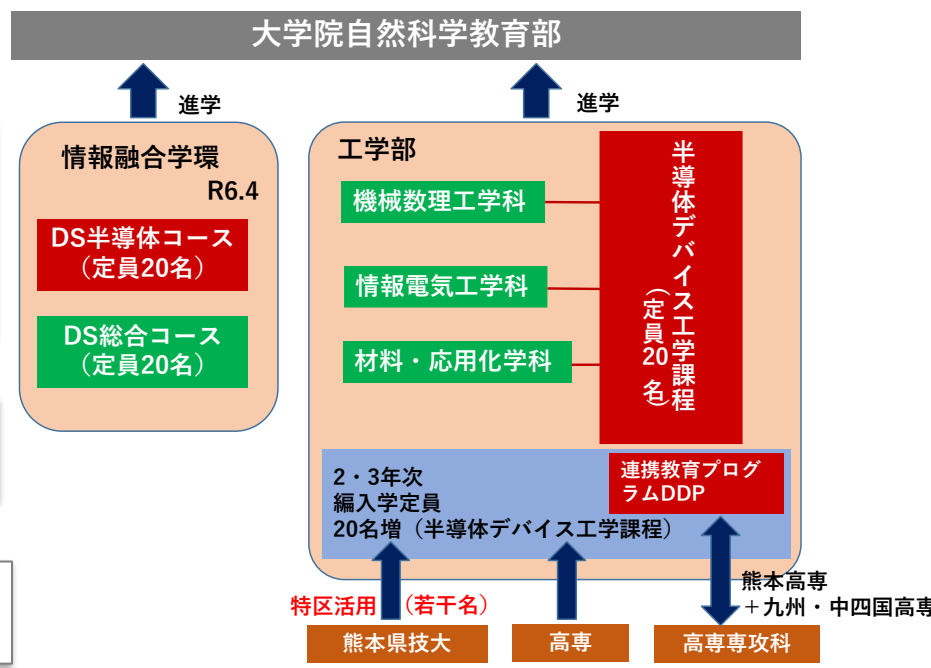
- 半導体組織拡充、編入生大幅拡大、高専・県立技大との連携教育**
- 半導体研究教育センターを学長直下の半導体・デジタル研究教育機構へ格上げ(10名増員)
 - 令和5年度4月入学の工学部3年次編入学定員20名増員。
 - 高専(専攻科)とダブルディグリープログラム(DDP)を新設(令和7年度)。
 - 熊本県立技術短期大学校からの編入生受入開始予定(令和6年度)。

院生のリサーチアシスタントシップ(RA)の標準化

企業との共同研究等において、院生をRA制度等で雇用、研究チームの正式メンバーとし、企業と密接に連携して研究指導、教育を行う。

半導体リカレント教育

新規に半導体関連分野への従事希望者に対して、学部・大学院レベルの講義科目からなるリカレント教育PG提供。



経済産業省「地域の中核大学の産学融合拠点の整備」(令和4年3月末採択) 半導体共創研究ハブ設立

内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」(令和5年2月熊本県採択) 半導体産業の強化及びユーザー産業を含めた新たな産業エコシステムの形成